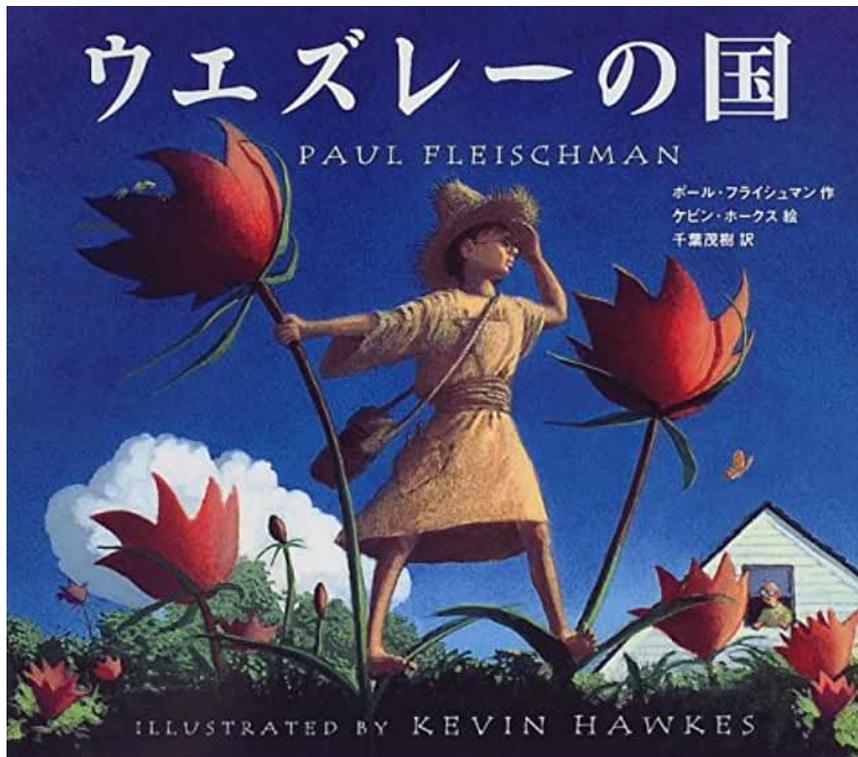


『ウェズレーの国』 ～四年生・上 137ページ 本の世界を広げよう～

ポール・フライシュマン 作

ケビン・ホークス 絵

千葉茂樹 訳



ウェズレーは個性的な子どもでした。なので学校の子ども達とは仲良くなれず、いつもちょっかいをだされてきました。でもウェズレーは自分だけの世界でSTAYHOMEし、満足して過ごしていました。

夏休みに自由研究の宿題が出ました。ひらめいたウェズレーは、今まで自分ひとりでじっくり積み重ねてきた知識や感性を総動員して、自分の国=ウェズレーの国を作ってしまう。

庭の土地を耕すところからはじめ、見たこともない作物を収穫したり、茎から取った繊維で帽子や洋服をつくったり、生き生きと活動するウェズレーをみて周りの子ども達は興味津々。子ども達の方がウェズレーの世界に引き込まれていき、ウェズレーの国へやってきました。

ウェズレーの国で楽しく充実した夏休みを過ごした最後の日、自分で作ったウェズレーの国の歴史を、自分で作ったインクと、自分で考えたウェズレー語で書き記し、ウェズレーは夏休みの自由研究を終えました。

九月になり学校が始まり、気づきます。ウェズレーが本当に手に入れたものは…

ウェズレーは決して友だちが欲しくて「ウェズレーの国」をつくったわけではないし、今だって一人を楽しむことができるはず。なぜなら最後のページのウェズレーの表情は、とても自信に満ち溢れています。絵本ならではの繊細な描写を楽しんでください。

●読むのにかかる時間 15分

●絵本 33ページ

●あすなろ書房